お客様ご相談窓口

みまもりほっとライン用iポットのお取り扱い方法・お手入れ方法などのご相談ならびにご依頼は、下記の「みまもりほっとライン」にご連絡ください。

みまもりほっとライン

ご契約者様専用フリーダイヤル　フリーダイヤル 携帯OK **0120-145-770**

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

●FAXでのお問い合わせ ･････････････ FAX 072-870-8031（有料）

●Eメールでのお問い合わせ ････････････ mimamori@zojirushi.co.jp

FAX・Eメールでお問い合わせの際は、「お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入ください。

●お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

愛情点検　長年ご使用のみまもりほっとライン用iポットの点検を！

こんな症状はありませんか	●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる ●保温ランプに切りかわらないときがある ●その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず「みまもりほっとライン」にご相談ください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号

CV-GL22型　ⒸⒷ

ZOJIRUSHI

みまもりほっとライン用

i-POT®

型名 CV-GL22 型 取扱説明書

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意･････････････････ 2
各部のなまえと扱い方･････････････ 7
湯を沸かす･･････････････････････12
湯を注ぐ･･････････････････････15
残り湯を捨てる･･････････････････16
再沸とう･･････････････････････17
空だき防止･･････････････････････17
保温設定･･････････････････････18
お手入れ･･････････････････････20
クエン酸洗浄（ピカポット）････････21
商品Q＆A･･････････････････････22
故障かなと思ったとき･･････････････23
仕様･･････････････････････････27
お客様ご相談窓口･･････････････裏表紙

●「みまもりほっとライン」は緊急事態をお知らせするものではありません。
また、異常・緊急時の対応サービスは行っておりません。

みまもりほっとライン®

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。
⚠注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

⃠してはいけない「禁止」内容です。	❗実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

■この製品には通信機器が内蔵されています。

❗指示

電波による医療機器への影響を防ぐために次のことをお守りください。

- ●医療機関の使用禁止場所や医療機器の近くでは電源を入れないでください。
- ●医療用ペースメーカーなどをお使いの場合は、装着部から22cm以内では電源を入れないでください。
  （通電中は装着部を22cm以内に近づけないでください。）
- ●自宅療養など医療機関の外で、医療用ペースメーカーなどをお使いの場合には、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。

❗指示

電波による電子機器の誤動作などを防ぐために次のことをお守りください。

- ●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。

ご注意いただきたい電子機器の例…補聴器・火災報知器・自動ドア・その他の制御機器など。
ご使用になる方は、医療機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

●お届けした製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠警告

●改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。修理は「みまもりほっとライン」にご相談ください。
→**裏表紙**

●製品を転倒させない

禁　止

自動給湯ロックされていても、製品を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

●水に浸けたり、水をかけたりしない 流し台など水にぬれた場所に置かない

水ぬれ禁止

ショート・感電の恐れがあります。

●上ぶたをつけたまま残り湯を捨てない

禁　止

上ぶたがはずれたときに湯がかかって、やけどの恐れがあります。

●ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電・けがの恐れがあります。

●製品を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない

禁　止

自動給湯ロックされていても、製品を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

●蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない

接触禁止

やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

禁　止

やけど・感電・けがの恐れがあります。

●蒸気口をふきんなどでふさがない

禁　止

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。
上ぶたの変形・変色や故障の原因になります。

●マグネットプラグをなめさせない

禁　止

感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

●満水表示以上の水を入れない

禁　止

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

●マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない

禁　止

感電・ショート・発火の原因になります。

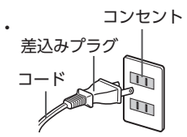
安全上のご注意　つづき

⚠警告

●コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない

禁　止

感電・ショート・発火の原因になります。



●コードを傷つけない

禁　止

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

●交流100V以外では使用しない

禁　止

火災・感電の原因になります。

●差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の根元にほこりが付着している場合はよくふく

必ず実施

火災の原因になります。

●上ぶたを勢いよく閉めない

禁　止

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

●差込みプラグは根元まで確実に差し込む

必ず実施

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

●氷を入れて保冷用に使わない

禁　止

結露が生じ、感電・故障の原因になります。

●定格15A以上のコンセントを単独で使う

必ず実施

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

●水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

禁　止

泡立ちが起こり、内容物がふきだして、やけどの恐れがあります。また水路や電動ポンプ内が詰まったり内容器の焦げつきや腐食・フッ素被膜がはがれる原因になります。

- ●牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
- ●インスタント食品の調理
- ●レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

●上ぶたは確実に閉める

必ず実施

倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

●内ぶたパッキンが白く変色したら交換する

必ず実施

そのまま使用すると、傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**

⚠警告

●異常・故障時には直ちに使用を中止する

必ず実施

そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。

＜異常・故障例＞

- ●差込みプラグ・コードが異常に熱くなる
- ●コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
- ●製品が変形したり、異常に熱くなる
- ●製品から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
- ●製品の一部が割れたり、緩みやがたつきがある
- ●蒸気が10分以上出続け、保温に切りかわらない
- ●製品から水が漏れる

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、「みまもりほっとライン」に必ず点検・修理を依頼する→裏表紙

⚠注意

●上ぶたを開けるときは、出る蒸気に触れない

接触禁止

やけどの恐れがあります。

●直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない

禁　止

火災・故障の原因になります。

●使用中や使用後しばらくは高温部に触れない

接触禁止

やけどの恐れがあります。

●製品を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない

禁　止

上ぶたが開いて、やけど・けがの恐れがあります。

●不安定な場所では使用しない

禁　止

やけど・けがの恐れがあります。

●給湯中に本体を回さない

禁　止

湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

●熱に弱い敷物の上では使用しない

禁　止

火災の原因になります。

●壁や家具の近くで使わない

禁　止

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

安全上のご注意　つづき

⚠注 意

●**専用の電源コード以外は使用しない**
電源コードは他の機器に転用しない
海外仕様の電気製品に使用しない

禁　止

故障・発火の原因になります。

●**使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く**

プラグを抜く

やけど・けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

●**湯沸かし中は、湯を注がない**

禁　止

湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

●**お手入れは冷めてから行う**

必ず実施

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

必ず実施

●**差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く**

感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■**本体を引きずって移動しない**
机などに傷がつく原因になります。

■**落とす・ぶつけるなどの衝撃を与えない**
故障・破損の原因になります。

■**キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合は、蒸気が天井部分に当たらないように注意する**
変色・変形の原因になります。

■**凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる**
凍結による故障の原因になります。

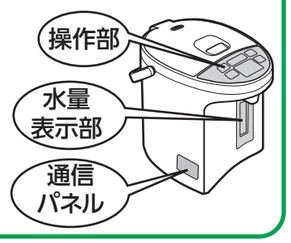
■**磁気カードなどを製品に近づけない**
キャッシュカード・自動改札用定期券などの記憶が消えることがあります。

■**空だきはしない**
火災・故障の原因になります。

■**ラジオなどの近くで使用しない**
ラジオ・テレビ・無線機・インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。

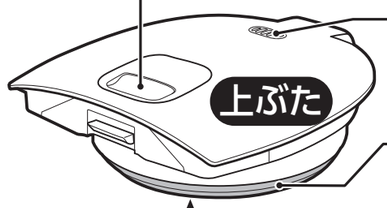
■**他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■**操作部・水量表示部・通信パネルには湯がかからないように注意する**
故障の原因になります。



各部のなまえと扱い方

●上ぶたを開閉するときや湯沸かし時に「カタカタ」という音や金属音がしますが、異常ではありません。
→P.25



上ぶた開閉つまみ

蒸気口
●湯沸かし時に蒸気が出て高温になるので注意してください。

内ぶたパッキン
●内ぶたパッキンが白く変色したら、「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**
そのまま使用すると、傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。
また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。

内ぶた

湯捨て位置
ここから湯を捨てる

満水表示

操作部
→P.8

注ぎ口
ここから湯が出る

水量表示部

給水表示
●必ず表示以上の水を入れてください。

水量ボール（赤玉）
●水量が水量表示部の目盛より多い場合は見えません。

ヒンジ部

内容器（フッ素加工）

水量目盛
●水を入れるときの目安にしてください。

ハンドル

プラグ差込み口
マグネットプラグを差し込む

容器ネット
●お手入れ後、忘れずに取りつけてください。→P.20

回転底
●回すときは本体にコードが巻きつかないようにしてください。

本 体

通信パネル
→P.10

電源コード

コード

マグネットプラグ

結束バンド

差込みプラグ

●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。
（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

付属品

ピカポット
（内容器洗浄用クエン酸）
30g×2包

各部のなまえと扱い方　つづき

操作部

●キーは確実に押してください。
●「ピッ」・「ピー」・「ピピッ」などの音の変化や、「給湯」キー中央の「●」は、目の不自由な人へ配慮したものです。

「沸かす」キー
再沸とうするときに使う
→P.17
クエン酸洗浄するときに使う（3秒以上押す）
→P.21

「給湯」キー
湯を注ぐときに使う→P.15

「ロック解除」キー
ロック解除するときに使う
→P.15

湯沸かしランプ

ロック解除ランプ

保温ランプ

保温中　沸かす　給湯　ロック解除　i-PoT
おでかけ　98 90 80　188　保温切　保温設定

おでかけランプ

「保温設定」キー
保温温度を設定するときに使う
→P.18

「おでかけ」キー
外出や帰宅をお知らせするときに使う→P.9

表示部
湯温などを液晶で表示します。

すべてを表していますが、お使いになる中でこのような表示はしません。

●確実に信号を送信するために

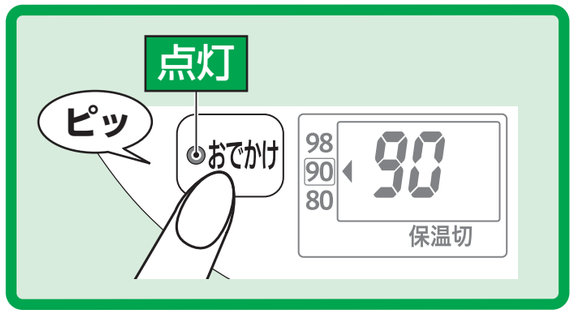
電気ポットを操作してすぐに差込みプラグやマグネットプラグをはずすと、ご使用状況を見守る方にお知らせできないことがあります。
差込みプラグやマグネットプラグをはずす場合は、電気ポットを操作してから5秒以上経過したあとにはずしてください。

「おでかけ」キー

●「おでかけ」キーを押すと、外出したことや帰宅したことを見守る方にお知らせします。

外出するとき

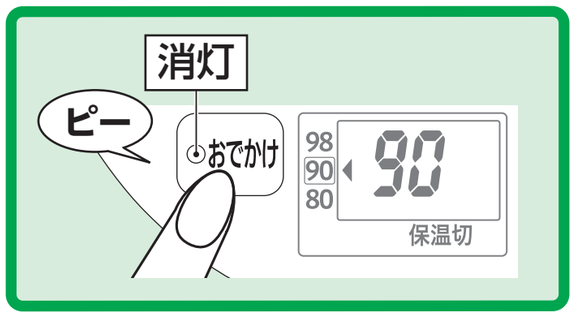
●「おでかけ」キーを押すと、**「ピッ」**という音が鳴り、おでかけランプ（緑）が点灯し、おでかけ設定になります。
（外出信号をサーバーに送信します。）



●おでかけ設定になっても保温は切れません。

帰宅したとき

●「おでかけ」キーを押すと、**「ピー」**という音が鳴り、おでかけランプが消灯し、おでかけ設定が解除されます。
（帰宅信号をサーバーに送信します。）

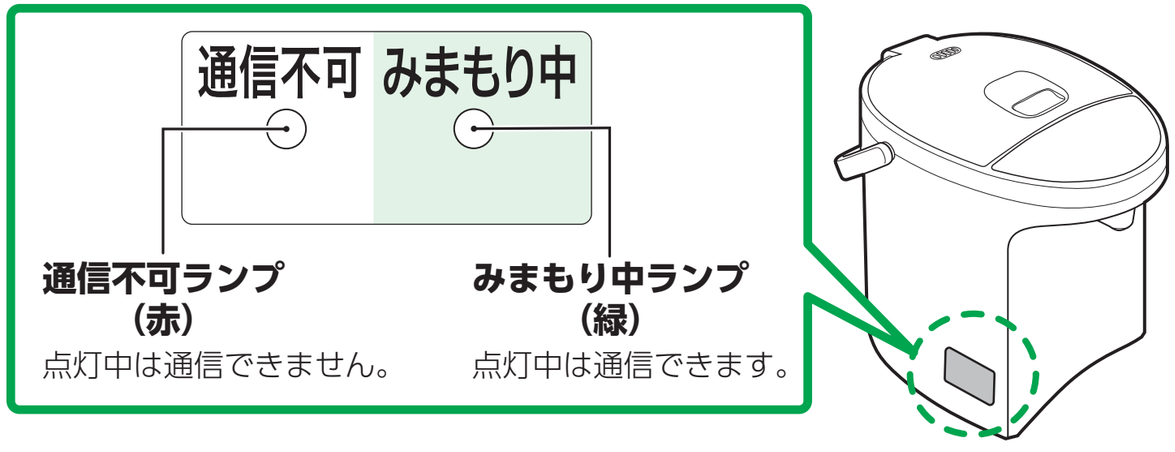


●他のキーを押した場合も、おでかけ設定が解除されます。
（帰宅信号をサーバーに送信します。）

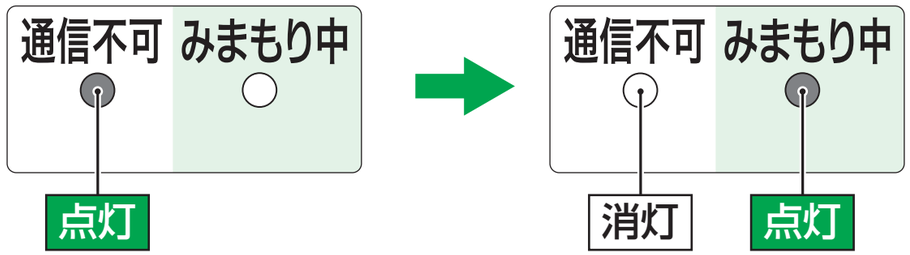
●おでかけランプ点灯中に差込みプラグやマグネットプラグをはずすと、おでかけ設定が解除されますので、帰宅したときに「おでかけ」キーを押す必要はありません。
（帰宅後プラグを接続したあとに「おでかけ」キーを押すと、帰宅信号は送信されず、再度外出信号が送信されます。）

各部のなまえと扱い方　つづき

通信パネル



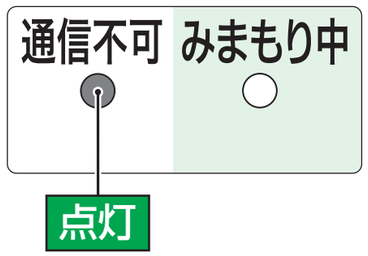
マグネットプラグ・差込みプラグを接続すると、
通信不可ランプ（赤）が点灯します。
しばらくすると（6分程度）、通信不可ランプ（赤）が消灯し、
みまもり中ランプ（緑）のみの点灯に切りかわります。



6分程度待っても通信不可ランプ（赤）のみが点灯しているときは、通信できていません。

差込みプラグを10秒以上抜いて再度差し込み、みまもり中ランプ（緑）のみの点灯に切りかわることを確認してください。

●地域によっては電波の届かない場所があります。
数回行っても通信不可ランプ（赤）が点灯し続ける場合は、「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**



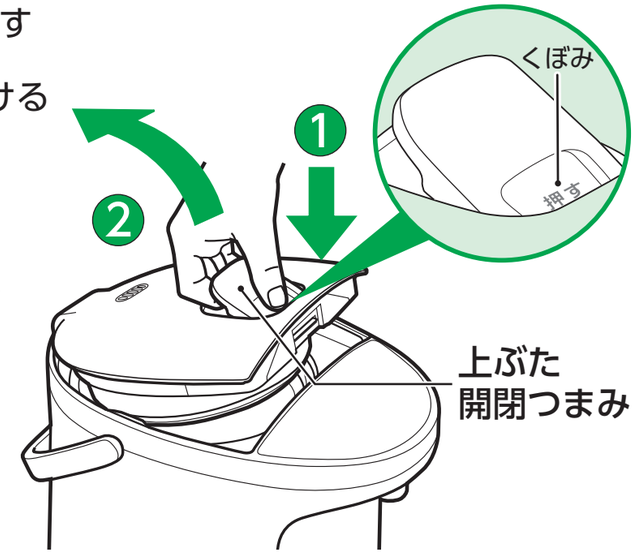
上ぶたの開け方・閉め方

開け方

1. 上ぶた開閉つまみのくぼみを押す
2. そのまま引き上げ、上ぶたを開ける

閉め方

上ぶたを「カチッ」と音がするまで
確実に押し込む



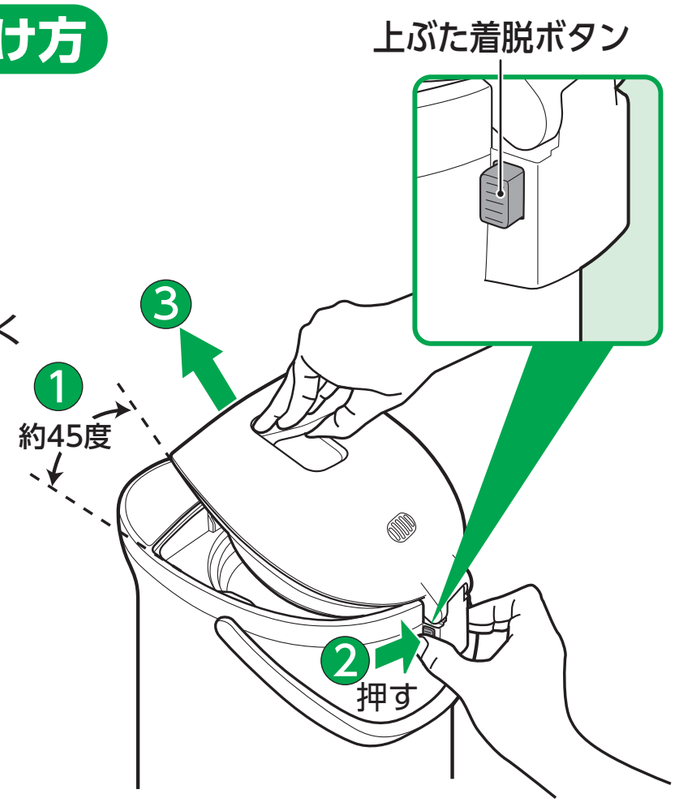
上ぶたのはずし方・つけ方

はずし方

1. 上ぶたを約45度開ける
2. 上ぶた着脱ボタンを押す
3. 押したまま、斜め上に引き抜く

つけ方

斜め上から奥に元通り
押し込む



湯を沸かす

1 上ぶたを開け、別の容器で 水を入れる

使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

●初めてお使いになるとき
●長期間お使いにならなかったとき

一度満水表示（MAX）まで水を入れ、手順通りに湯を沸かしてください。
その後、湯の通り道をすすぐため、「ロック解除」キーを押してから「給湯」キーを押し、1L程度の湯を注いだあと、残り湯を捨ててからお使いください。
（容器ネットは必ず取りつけてください。）

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水のご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物が生じたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。
ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れをしてください。

水量ボールの位置と水位管のラインの太さで水量がひと目で分かります。

お願い

●蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。
（製品内部に水が入り、故障の原因）

●操作部など内容器以外に水がかからないように注意してください。
（水が入り、故障の原因）

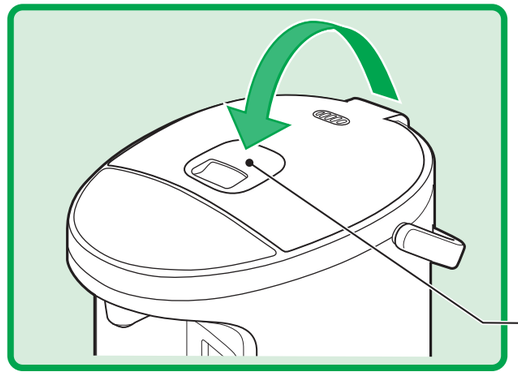
●満水表示以上の水を入れないでください。
（注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれ、やけどの恐れ）

●熱湯を入れないでください。
（空だき防止機能が働く原因）
→P.17

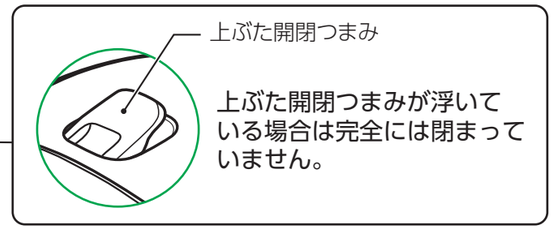
●水以外のものを入れないでください。

●市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れないでください。
（かけらが詰まり故障の原因）

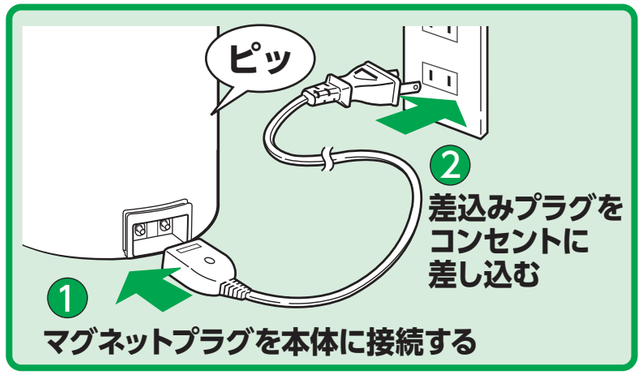
2 上ぶたを閉め マグネットプラグ・差込みプラグを接続する



上ぶたは確実に閉めてください。
（倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れ）



上ぶた開閉つまみが浮いている場合は完全には閉まっていません。



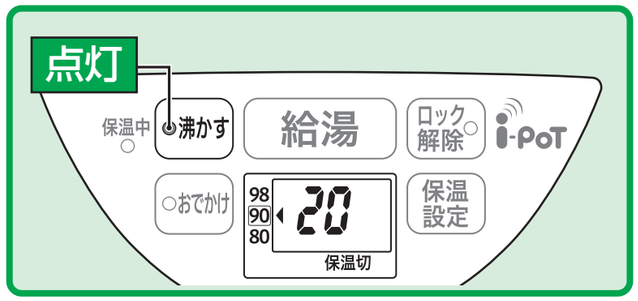
奥までしっかり差し込んでください。
（感電・ショート・発煙・発火の原因）

お願い

●マグネットプラグの先端は磁石になっていますので、ピンなど金属片やごみを付着させないでください。

自動的に湯沸かしを開始

湯沸かしランプが点灯し、液晶に水温を5℃きざみで表示します。



保温設定
98保温 →P.18
80保温 →P.19
保 温 切 →P.19

●工場出荷時は90保温に設定されていますので、（保温設定）を押して、お好みの保温設定にしてください。→P.18、19

●一度設定した温度は差込みプラグやマグネットプラグをはずしても記憶しています。

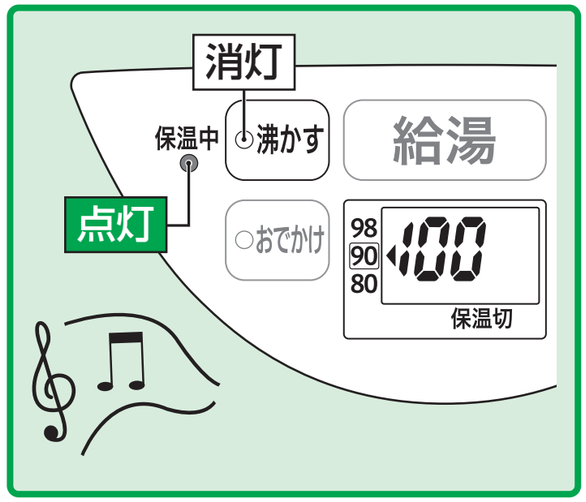
湯を沸かす　つづき

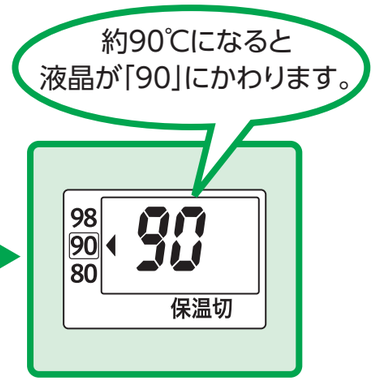
湯沸かしが完了するとメロディー※が鳴り

※曲名:メヌエット

自動的に保温を開始(90保温)

湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯し、液晶に「100」を表示します。





湯沸かし完了までの時間	湯沸かし完了後、湯温が約90℃になるまでの時間
約19分※ (室温23℃・水温23℃・満水の場合)	約1時間 (室温23℃・満水の場合)

※カルキとばしの時間を含んでいます。(沸とう後、約4分かかります。)

●室温・水量などにより時間がかわることがあります。

お願い

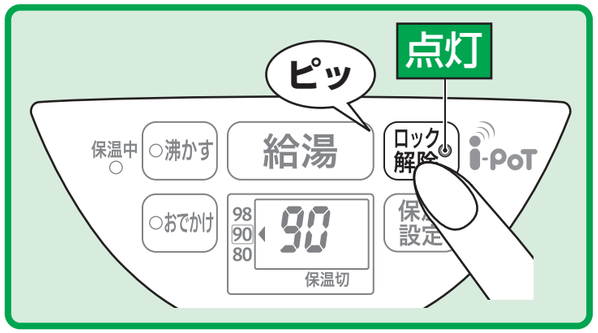
●保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。
(自動的に湯沸かしを開始します。)
ただし、つぎ足す水の量が少ないと湯沸かしを開始しない場合があります。その場合は「沸かす」キーを押してください。→P.17

●やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
・蒸気口にふきんをかけない
・蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
・湯沸かし中は上ぶたを開けない
・湯沸かし中は湯を注がない

湯を注ぐ

1 ロック解除 を押す

ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。



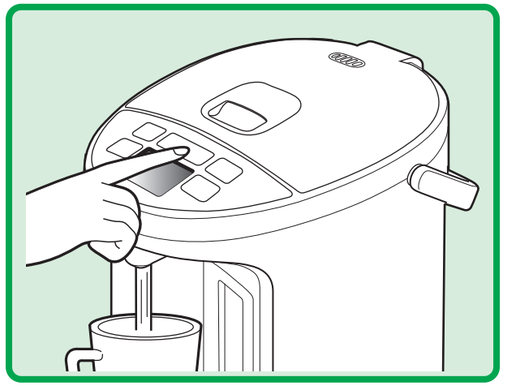
お願い

●内容器が空のときはロック解除して「給湯」キーを押さないでください。

2 給湯 を押して湯を注ぐ

注ぐときに本体が回らないように注意してください。

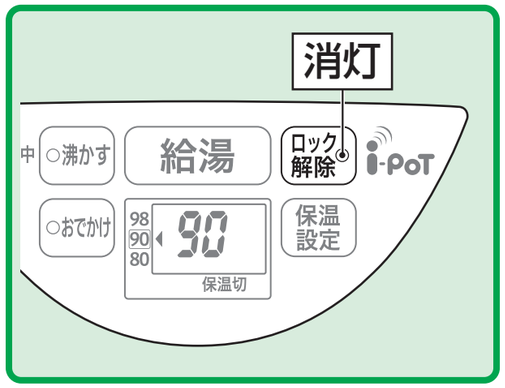
●湯沸かし完了後やしばらく湯を注いでいないときは、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯は捨ててください。
●湯沸かし中は湯を注がないでください。
●湯沸かし完了直後は湯が出にくいことがあります。そのような場合はしばらくしてから、もう一度湯を注いでください。
●湯沸かしおよび保温中は製品が熱くなりますので注意してください。



注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、自動給湯ロックがかかります。

自動給湯ロック

うっかり「給湯」キーに触れたときに湯が出ない安全機能です。
●注がないときも約10秒後にロックされます。

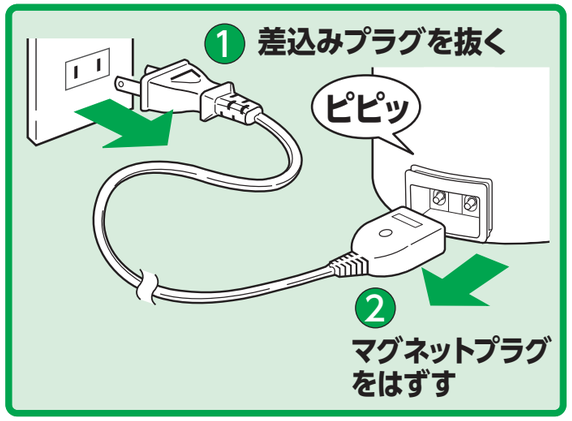


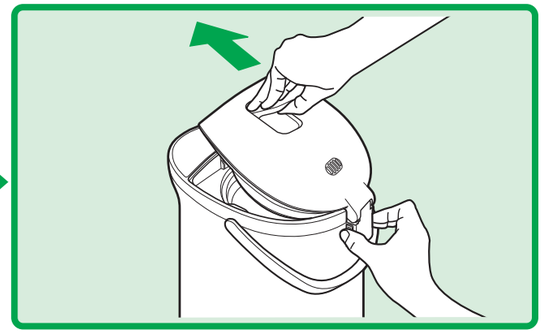
湯を注いだあと、製品を傾けたり、揺すらないでください。
(注ぎ口からしずくが垂れてやけどの恐れ)

残り湯を捨てる

使わないときは湯を捨ててください。

1 差込みプラグ・マグネットプラグ・上ぶたをはずす

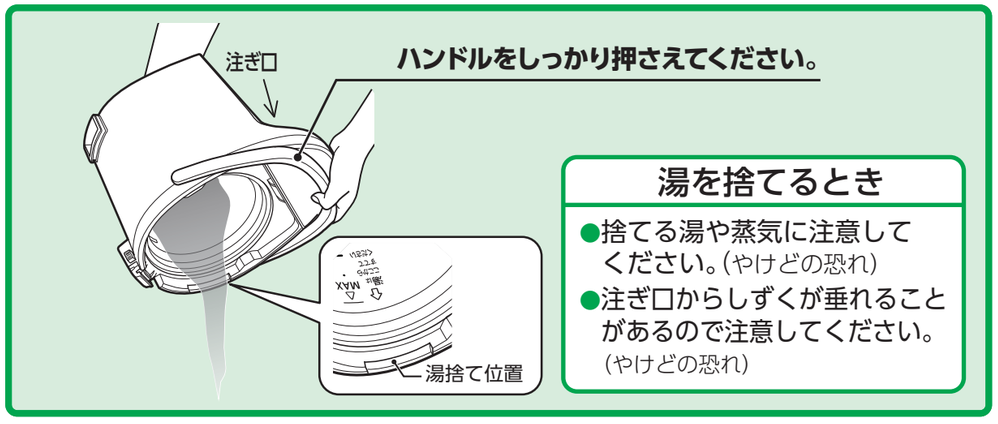




上ぶたをはずすとき

●蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)

2 両手で本体を持ち「湯捨て位置」からゆっくり湯を捨てる



湯を捨てるとき

●捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)

●注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。(やけどの恐れ)

お願い

●ぬれた手でマグネットプラグや差込みプラグを持たないでください。(ショート・感電の恐れ)

●必ず上ぶたをはずしてから湯を捨ててください。(上ぶたがはずれ、やけどの恐れ)

●操作部やヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないように注意してください。(やけど・故障の原因)

●容器ネットの取りつけが不十分な場合、湯を捨てたときに抜け落ちることがあるので注意してください。

●1日1回は残り湯を捨ててください。(水アカの付着やにおいの原因)

再沸とう

保温中の湯を再び沸かすとき

保温中に ○沸かす を押す

湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始

再沸とうが完了するとメロディーが鳴り、保温に切りかわります。

再沸とう完了までの時間	
98保温の場合	約2～4分
90保温の場合	約4～6分

(室温23℃・満水の場合)

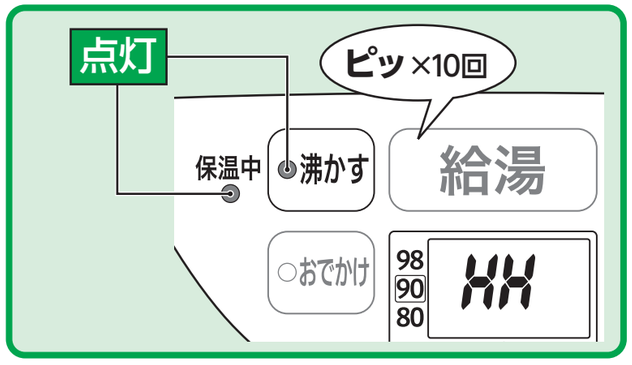
お願い

●再沸とうするときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「沸かす」キーを押してください。

●再沸とう中は湯を注がないでください。

●再沸とう完了後は湯が出にくいことがあります。そのような場合はしばらくしてから、もう一度湯を注いでください。

空だき防止



「ピッピッピッ・・・」という音が鳴り、ランプが点灯し、液晶が「HH」を表示する

●空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になりますので注意してください。

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能が働いてヒーターへの通電を停止し、表示とブザーでお知らせします。

●水を入れずにマグネットプラグ・差込みプラグを接続したとき

●給水表示以下の水量で湯沸かししたとき

●湯を使いきったまま放置したり、給水するため上ぶたを開けたまま放置したとき

●マグネットプラグ・差込みプラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

処置 差込みプラグを抜き、内容器が十分冷めてから給水表示以上の水を入れ、再び差込みプラグを差し込む

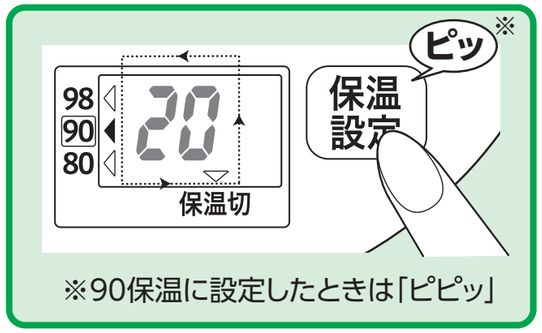
保温設定

保温設定 を押して設定を切りかえる

キーを押すごとに表示部の「◀」マークが移動しますので用途に応じて合わせてください。

90（初期）→ 98 → 90 → 80 → 保温切

●切りかえは保温中でも行えます。
（湯温により、自動的に再沸とうを開始する場合があります。）
●一度設定した温度は差込みプラグやマグネットプラグをはずしても記憶しています。



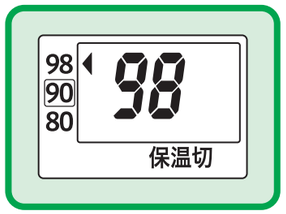
※90保温に設定したときは「ピピッ」

コーヒーや紅茶・カップめんに
98保温
98℃はコーヒーや紅茶・カップめんに適した温度です。

「98」を選ぶ

湯沸かしが完了するとメロディーが鳴り、湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯

湯温が約98℃になると温度表示がかわる

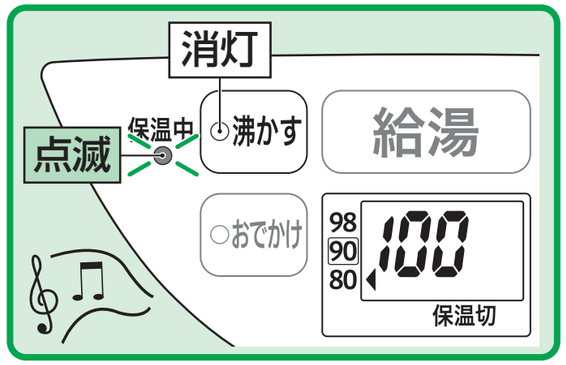


●沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96～97℃で保温することがあります。

日本茶に
80保温
80℃は日本茶（煎茶）に適した温度です。

「80」を選ぶ

湯沸かしが完了するとメロディーが鳴り、湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点滅
（保温中に設定した場合、80保温設定の2秒後に点滅にかわります。）



湯温が約80℃になると温度表示がかわり、保温ランプが点滅から点灯にかわる

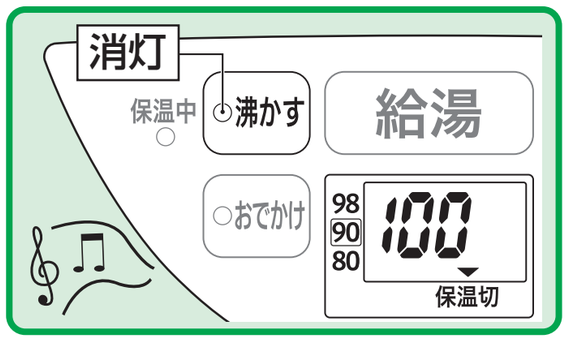
湯沸かし完了後、湯温が約80℃になるまでの時間
約2時間50分
（室温23℃・満水の場合）

●室温・水量などにより時間がかわることがあります。

消費電力の節約に
保温切
湯沸かしが完了するとヒーターへの通電を停止し、まほうびん構造によって保温するので、消費電力量の節約になります。
ただし、湯温は徐々に下がります。通信は停止しません。

「保温切」を選ぶ

湯沸かしが完了するとメロディーが鳴り、湯沸かしランプが消灯



保温切に設定した場合の湯温

湯沸かし完了から		
2時間後	4時間後	6時間後
約88℃	約78℃	約70℃

（室温23℃・満水の場合。容器中央部の測定値）

●湯温は容器中央部の温度を測定したものです。時間の経過とともに容器内の湯温は上下で温度差が生じるため、平均的な温度として容器中央部を測定しています。
●湯温は徐々に下がりますが、保温切の場合は実際の湯温より低い温度を表示することがあります。
●湯量が少ないときは、湯温が早く下がります。

●**保温切中に湯温が下がっても自動的に湯沸かしは開始しません。湯がぬるいときは、「沸かす」キーを押して再沸とうしてください。**（再沸とう後も湯温は徐々に下がります。）

お手入れ

必ず差込みプラグとマグネットプラグをはずし、残り湯を捨て、本体が冷めてから行ってください。

お願い

- **本体・上ぶた・電源コードの丸洗いは絶対にしないでください。**
- **底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)**
- 次のものは、使用しないでください。
  - ・シンナー・ベンジン・漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
  - ・みがき粉・ナイロンたわし・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
  - ・洗剤(ふきこぼれてやけどの恐れ、においが残る原因)
- 容器ネット以外の部分にブラシは使用しないでください。(表面を傷つける原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください。

内ぶた

ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る

内容器

定期的にクエン酸洗浄をする→P.21

以下のようなときに、クエン酸洗浄を行ってください。

- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
- 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
- 湯を沸かしたとき、大きな音がする
- 湯がにおう

(使用される水質や湯沸かしの回数によって汚れの状態は異なります。)

容器ネット

内容器からはずし、ブラシで洗う

引き抜くとはずれます。
取りつけるときは、しっかりと押し込みます。

汚れが取れない場合は、「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**

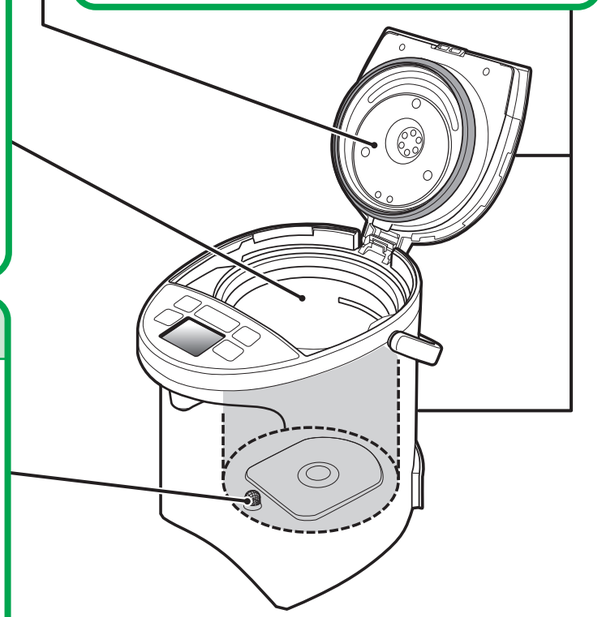
- **必ず取りつけて使用してください。**

(異物が水路や電動ポンプ内に入り、湯が出なくなる原因)

本体・上ぶた

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 操作部・水量表示部・通信パネルに水をかけたり、丸洗いをしないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)



電源コード

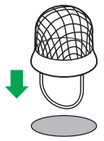
乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

1～3ヶ月に1回は

クエン酸洗浄(ピカポット)

お願い 泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社の**ピカポット**(ポット内容器洗浄用クエン酸)をお使いください。

準備 内容器の底に容器ネットが取りつけられているか確認する



お願い ●容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取りつけてください。

1 コップを用意し、コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(△ MAX)まで入れる

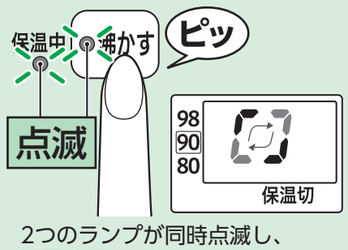
お願い ●水は満水表示以上入れないでください。(ふきこぼれる恐れ)

2 上ぶたを閉め、マグネットプラグ・差込みプラグを接続する

3 ○沸かす を3秒以上押す

途中でクエン酸洗浄を取り消す場合や誤った操作をしてやり直す場合は 差込みプラグを5秒以上 抜いてください。

洗浄開始



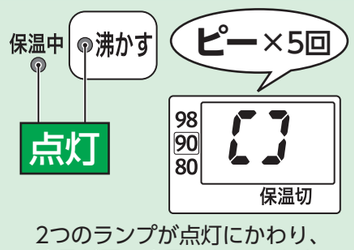
2つのランプが同時点滅し、液晶表示が回転します。

洗浄時間

約1時間30分※

※洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。

洗浄完了



2つのランプが点灯にかわり、液晶が図の表示にかわります。

4 差込みプラグ・マグネットプラグ・上ぶたをはずして湯捨て位置から湯を捨てる

5 (内容器をすすぐため)
再び内容器に水を満水表示(△ MAX)まで入れ、上ぶたをつける
上ぶたを閉め、マグネットプラグ・差込みプラグを接続する

6 (注ぎ口内部をすすぐため)
湯沸かしが完了したら、再度コップを用意し、「ロック解除」キーを押してから「給湯」キーを押し、コップに1杯程度の湯を注ぎ、注いだ湯を捨てる

7 上記**4**の手順で残りの湯を捨てる

湯を捨てるとき

- 捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)
- 注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。(やけどの恐れ)
- ヒンジ部に湯がかからないように注意してください。(やけど・故障の恐れ)

お願い ●汚れが落ちにくい場合や湯が出にくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

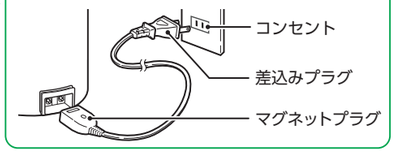
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器や容器ネットに水の成分(ミネラル分)などの汚れが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した汚れをそのままにしておくと、湯沸かし中の音が大きくなったり、湯が出にくくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れしてください。

商品Q&A

水以外のものを入れてもいいのですか？	水以外は入れないでください。 入れたものがふきだしてやけどの恐れがあります。 また、故障の原因になります。	P.4
毎日湯はかえないといけないのですか？	1日1回は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、内容器に水アカが付着し、湯沸かしの音が大きくなったり、湯がにおう原因になります。	P.16
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか？	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物が生じたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	P.12 P.21
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった！！	吐かせずにコップ1～2杯の水または牛乳を飲ませてください。 異常が残る場合は医師に相談してください。	
電気ポットの電源を入れたままで外出しても大丈夫？	万一、水がなくなっても空だき防止機能によりヒーターへの通電を停止しますので、ご安心ください。ただし、空だきを繰り返すと内容器のフッ素被膜が変色したりはがれたりする原因になりますので注意してください。	P.17

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
湯が沸かない （湯沸かしランプが点灯しない、液晶に湯温を表示しない）	マグネットプラグや差込みプラグがはずれていませんか？	マグネットプラグ・差込みプラグを接続してください。 または、別のコンセントでお確かめください。 
	マグネットプラグに異物が付着していませんか？	異物を取り除いてください。
湯がにおう	内容器に水アカなどがついていませんか？	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→**P.21**
	お手入れ（クエン酸洗浄）されていますか？	
	長期間使わなかったのでは？	一度湯を沸かし、ロック解除キーを押してから 給湯 キーを押し、1L程度の湯を注いだあと、残り湯を捨ててからご使用ください。→**P.12**

●使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
●水道水に含まれる消毒用塩素（カルキ臭）が残ることがあります。

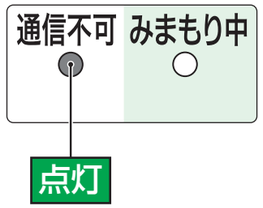
注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか？	水を満水表示以下に減らしてください。
湯がぬるい	湯沸かし完了後やしばらく給湯していないときは、水位管に水が残っているため、湯がぬるい場合があります。	1杯目の湯を捨て、2杯目の湯をお使いください。
	設定を保温切にしていませんか？ ヒーターへの通電を停止していますので、湯温は徐々に下がります。	○沸かすキーを押して再沸とうしてください。→**P.17**
		保温設定を変更してください。→**P.18**
湯が冷めやすい（保温切設定時）	湯が少なくなっていませんか？	水を足し（満水表示以下）、○沸かすキーを押してください。

故障かなと思ったとき　つづき

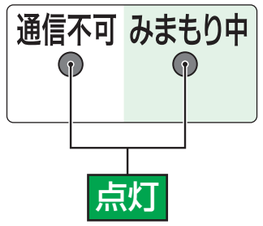
こんなときは	お調べいただくこと	直し方
湯が出ない、出にくい	湯沸かし完了後しばらくは、湯が出にくいことがあります。	湯沸かし時は内容器底から泡が発生します。しばらくしてから、もう一度湯を注いでください。
	内容器・容器ネットに水アカなどがついていませんか？	内容器・容器ネットをお手入れしてください。→**P.20**
	自動給湯ロックになっていませんか？	ロック解除キーを押してから 給湯 キーを押してください。→**P.15**
	マグネットプラグや差込みプラグがはずれていませんか？	マグネットプラグ・差込みプラグを接続してください。
	水路や電動ポンプ内に水の成分(ミネラル分)が付着して湯が出にくくなることがあります。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→**P.21**
湯の中で膜状のものが浮遊している（フッ素被膜がはがれてきているのでは?）	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	**水アカ** お使いいただいているうちに、水の中に含まれている水の成分(ミネラル分)が、内容器や容器ネットに付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。
内容器に乳白色のザラザラしたものがつく 湯沸かし中に大きな音がする	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	
内容器に赤さび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	
湯の中で白いものが浮遊している	●変色したりザラザラしている場合は、「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**	

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
製品外側が熱くなる	●湯温や室温が高い場合は製品外側が約60℃になるときがありますが、異常ではありません。	
電源コードが熱くなる	●湯沸かし中は、電源コードが熱くなる場合がありますが、異常ではありません。	
上ぶたを開閉するときや湯沸かし時に「カタカタ」という音や金属音がする	●万一転倒した場合に、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。	
表示部や水量表示部がくもる	●蛇口から直接給水したり、流し台に置いて底面がぬれたりすると、製品内部に水が浸入し、表示部や水量表示部がくもることがあります。ショート・感電の原因になりますので差込みプラグを抜いて、「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**	
こんな表示をしたときは 保温中ランプが点滅する（保温中 沸かす 点滅 98 90 80 100 保温切）	80保温に設定していませんか？（98 90 80 100 保温切）	80保温設定時は、湯沸かしが完了したあと設定温度になるまでの間は、保温ランプが点滅します。→**P.19**
ランプが点灯し、液晶が「HH」表示をする（保温中 沸かす 点灯 98 90 80 HH 保温切）	水は少なくないですか？ マグネットプラグ・差込みプラグを接続直後に熱湯を入れませんでしたか？ 空だき防止機能が働いています。	差込みプラグを抜き、内容器が十分冷めてから給水表示以上の水を入れ、再び差込みプラグを差し込んでください。→**P.17**
2つのランプが同時点滅し、液晶表示が回転する（保温中 沸かす 点滅 98 90 80 C 保温切）	沸かすキーを3秒以上押しませんでしたか？ クエン酸洗浄中です。	クエン酸洗浄を取り消す場合、差込みプラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度差し込んでください。→**P.21**
液晶が E2・E3・E4 表示をする	故障です。	「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**

故障かなと思ったとき　つづき

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
こんな表示をしたときは 通信不可ランプ(赤)が点灯する  	マグネットプラグ・差込みプラグを接続してから6分以上経過していますか？	差込みプラグを10秒以上抜いて再度差し込み、みまもり中ランプ(緑)のみの点灯に切りかわることを確認してください。 数回行っても通信不可ランプ(赤)が点灯し続ける場合は、「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**

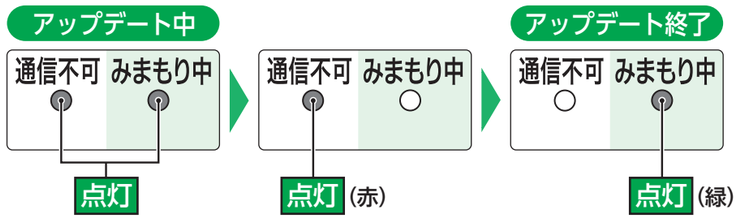
2つのランプが同時に点灯する



●通信機器がアップデートしています。(約30分間)

通信機器のアップデートについて　アップデートを行うときは、事前に契約者サイトなどでお知らせします。

通信機能の保守のため、内蔵されている通信機器のアップデートを行うことがあります。
アップデートは自動的に行いますので、特別な操作をする必要はありません。約30分間で完了します。



内ぶたパッキンの消耗

●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。上ぶたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、内ぶたパッキンが白く変色してきた場合は、「みまもりほっとライン」にご相談ください。
→**裏表紙**

内容器(フッ素加工)は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
「みまもりほっとライン」にご相談ください。→**裏表紙**

仕様

型名		CV-GL22
定格容量		2.2L
電源		交流100V　50/60Hz
消費電力		905W
消費電力量	年間	236kWh/年
	1日当たり	0.65kWh/日
コードの長さ		1.0m
外形寸法(約cm)		幅22×奥行29.5×高さ26
質量(コード含む)		約2.9kg
電動ポンプ(電動機)消費電力		約1.8W

●消費電力量とは、日本電機工業会自主基準による測定の場合です。
(室温23℃、湯沸かし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90℃で23時間/1日、365日/年間、その他水量等の試験条件：JEMA自主基準HD-112に基づく)
●電動ポンプ(電動機)消費電力とは、給湯時の消費電力です。
●高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
●特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。
●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

技術基準適合表示

T D200115003
R 003-200138